

MRI 検査手順

フルボディスキャン タイプ

スキャン 条件1

ICDスキャン 条件

植込みICD : Ellipse/Ellipse Limited/Fortify Assura

スキャン 条件2

植込みリード : Tendril MRI™(モデル番号 : LPA1200M/46,52) 

植込みICD : Gallant ICD(モデル番号 : CDVRA500Q,CDDRA500Q)

スキャン 条件3

植込みリード : Tendril™ STS(モデル番号 : 2088TC/46,52) 

植込みICD : Gallant ICD(モデル番号 : CDVRA500Q,CDDRA500Q)

条件付きMRI対応ICDが植え込まれています。

患者氏名			
緊急連絡先			
植込み施設			
診療科名			
	モデル番号	シリアル番号	植込み日
ICD			
心房リード			
心室リード			

1.5T MRI 専用

(注)リード植込み後の期間はMRI検査を受けることはできませんのでご注意ください。

条件付きMRI対応ICDが植え込まれています。

患者氏名			
緊急連絡先			
植込み施設			
診療科名			
	モデル番号	シリアル番号	植込み日
ICD			
心房リード			
心室リード			

1.5T MRI 専用

(注)リード植込み後の期間はMRI検査を受けることはできませんのでご注意ください。

条件付きMRI対応ICDが植え込まれています。

患者氏名			
緊急連絡先			
植込み施設			
診療科名			
	モデル番号	シリアル番号	植込み日
ICD			
心房リード			
心室リード			

1.5T/3.0T 対応

(注)リード植込み後の期間はMRI検査を受けることはできませんのでご注意ください。

事前確認

- ・条件付き MRI 対応カード確認 (紫色のカード)
- ・本体とリードの両方が MRI 対応であること
- ・遺残リード、その他のデバイス、アダプターなどが植え込まれていないこと
- ・リード植込み後 6 週間経過していること
- ・リード抵抗が限度値内であること
- ・出力 5.0v/1.0ms **または 7.5V/1.0ms** で横隔膜刺激がないこと
- ・右心房または右室リードのキャプチャー閾値が不安定でないこと
- ・リード損傷の疑いが無いこと
- ・平熱で体温調整に異常がないこと
- ・検査オーダー先の MR 装置が 1.5T トンネル型であること
- ・検査当日は仰臥位 (腕の位置は体の横とする) で撮像が行えること

- ・条件付き MRI 対応カード確認 (紫色のカード)
- ・本体とリードの両方が MRI 対応であること
- ・遺残リード、その他のデバイス、アダプターなどが植え込まれていないこと
- ・リード植込み後 6 週間経過していること
- ・リード抵抗が限度値内であること
- ・出力 5.0v/1.0ms **または 7.5V/1.0ms** で横隔膜刺激がないこと
- ・右心房または右室リードのキャプチャー閾値が不安定でないこと
- ・リード損傷の疑いが無いこと
- ・平熱で体温調整に異常がないこと
- ・検査オーダー先の MR 装置が 1.5T トンネル型であること
- ・検査当日は仰臥位 (腕の位置は体の横とする) で撮像が行えること

- ・条件付き MRI 対応カード確認 (紫色のカード)
- ・本体とリードの両方が MRI 対応であること
- ・遺残リード、その他のデバイス、アダプターなどが植え込まれていないこと
- ・リード植込み後 6 週間経過していること
- ・リード抵抗が限度値内であること
- ・出力 5.0v/1.0ms **または 7.5V/1.0ms** で横隔膜刺激がないこと
- ・右心房または右室リードのキャプチャー閾値が不安定でないこと
- ・リード損傷の疑いが無いこと
- ・平熱で体温調整に異常がないこと
- ・検査オーダー先の MR 装置が 1.5T トンネル型であること
- ・検査当日は仰臥位 (腕の位置は体の横とする) で撮像が行えること

MRI 検査直前

- ・1.5T のトンネル型 MR 装置であること
- ・検査は仰臥位 (腕の位置は体の横とする)
- ・一軸あたりの最大勾配スルーレートが 200T/m/s 以下であること
- ・全身 SAR2.0W/kg 以下、頭部 SAR3.2W/kg 未満であること
- ・ローカル送信専用コイル又はローカル送受信コイルの使用は、**頭部、下肢 (ただし、臀部を除く)、手首に限ること**
- ・スキャン中は体外式除細動器をえるよう準備すること
- ・パーマナントな ICD 設定を記録すること
- ・ICD 管理医の指示に従い、プログラムで MRI 設定を有効化すること
- ・MRI 設定有効化後の ICD 設定を記録すること

- ・1.5T のトンネル型 MR 装置であること
- ・検査は仰臥位 (腕の位置は体の横とする)
- ・一軸あたりの最大勾配スルーレートが 200T/m/s 以下であること
- ・全身 SAR2.0W/kg 以下、頭部 SAR3.2W/kg 未満であること
- ・**円偏波 (CP) により RF 励起したローカル RF 送受信コイル (頭部、下肢又は上肢用) を使用していること (送信専用コイルは使用不可)**
- ・スキャン中は体外式除細動器をえるよう準備すること
- ・パーマナントな ICD 設定を記録すること
- ・ICD 管理医の指示に従い、プログラムで MRI 設定を有効化すること
- ・MRI 設定有効化後の ICD 設定を記録すること

- ・1.5T または 3.0T のトンネル型 MR 装置であること
- ・検査は仰臥位 (腕の位置は体の横とする)
- ・一軸あたりの最大勾配スルーレートが 200T/m/s 以下であること
- ・全身 SAR2.0W/kg 以下、頭部 SAR3.2W/kg 未満であること
- ・**1.5T で撮像する場合は円偏波 (CP) により RF 励起したローカル RF 送受信コイル (頭部、下肢又は上肢用) であること**
- ・**また、送信専用コイルは使用不可こと、3.0T で撮像する場合はローカルコイルの使用は受信専用に限ること**
- ・スキャン中は体外式除細動器をえるよう準備すること
- ・パーマナントな ICD 設定を記録すること
- ・ICD 管理医の指示に従い、プログラムで MRI 設定を有効化すること
- ・MRI 設定有効化後の ICD 設定を記録すること

MRI 検査中

- ・MRI 検査時は、心電図、パルス酸素濃度計または非侵襲的血压測定の内いずれかを使用し、血行動態のモニタリングを行う必要がある

MRI 検査直後

- ・プログラムで MRI 設定を無効化する
- ・プログラムで CRT-D チェックを実施
- ・プログラムで CRT-D チェック結果・設定を記録
- ・CRT-D 管理医により、CRT-D が MRI 検査前の設定に戻っていること、調整が必要ないことを最終確認してください



患者様ごとの詳細な撮像条件につきましては、シリアル検索システムでご確認下さい
<https://www.cardiovascular.abbott/jp/ja/mri-verification.html>